

ICTを活用した中山間地域づくり事業の実証開始について

市では、スマートシティ会津若松の地方創生の取り組みとして、湊地区をモデルとして「ICTを活用した中山間地域づくり事業に取り組んでいます。

○目的

「ICT（情報通信技術）の力で、生活を便利に、地域の活性化を目指します。」

人口減少が進み、地域コミュニティの活力向上が求められる中山間地域の地域課題解決の手法の1つとして、

- ・生活支援（情報配信）システムの構築
- ・通信網の整備
- ・デマンド型乗合自動車の導入と運用

などの「中山間地域づくり生活支援システム」の構築・運用により、中山間地域のコミュニティづくりを推進していくもの

○事業内容（事業期間：平成28年度～平成30年度）

(1) 中山間地域生活支援システムの構築と運用

①生活支援（情報配信）システムの構築

中山間地域をモデル（湊地区）とし、「会津若松+（プラス）」と連携させたSTB(セットトップボックス)を導入し、行政情報、地域内交通などの情報を提供する「中山間地域生活支援システム」を構築し、地域団体と協働により運用します。

②通信網の整備

湊地区のADSL通信事業者の関西ブロードバンドと連携し、地区内の通信環境を整備します。

(2) 中山間地域における地域内交通システムの構築と導入

・デマンド型乗合自動車の導入と運用

再生可能エネルギーを活用した電気自動車を地域内交通として導入し、人の移動はもとより、例えば、地域の農産物直売所への野菜集荷などの搬送にも活用を検討します。

*運用に際しては、中山間地域生活支援システムで予約受付・運行情報の表示を行い、地域の団体が主体的に取組む仕組みを構築します。

○スケジュール

H28年度：実態調査・事業計画の策定

H29年度：システム構築・導入及び実証

（10月より、湊地区の一部地域から順次導入し、湊地区全域に展開予定）

H30年度分：実証継続と評価及び今後の運用展開への調整

「ICTを活用した中山間地域づくり事業」事業イメージ

